

2025 年 11 月 12 日

ブルーイノベーション株式会社

「Japan Drone／次世代エアモビリティ EXPO 2025 in 関西」に出展・登壇します
～公共インフラ点検と万博でのドローン運航管理の最前線を発信～



ブルーイノベーションは、2025 年 11 月 26 日(水)～27 日(木)にグランフロント大阪で開催される「Japan Drone／次世代エアモビリティ EXPO 2025 in 関西」に出展および登壇いたします。

本年は、「公共インフラ点検におけるドローン活用」および「大阪・関西万博でのドローン・空飛ぶクルマの運航管理」という 2 つの社会実装テーマを中心に、展示と講演を通じてドローン技術がもたらす社会的価値を発信します。

出展内容

ブルーイノベーションのブースでは、独自の統合プラットフォーム「Blue Earth Platform[®] (BEP)」を基盤に、現場の多様な課題に応える最新ドローンソリューションを紹介します。

展示では、屋内点検ドローン「ELIOS 3」を活用した公共インフラ・プラント設備の高度な点検ソリューションを、会場内でのデモフライトを通じて体感いただけます。

さらに、次世代型防災ソリューション「BEP ポート | 防災システム」も展示。災害時のドローンポートを活用し、避難広報や現場状況の把握を自動化することで、迅速な初動対応を可能にする仕組みを、実際の導入事例を交えて紹介します。

BEP が実現する安全・安心な社会の未来像をぜひご覧ください。

登壇内容

■11月26日(水)15:30-16:30 パネルセッション①

テーマ：公共インフラ点検におけるドローン活用がホットトピックに！

登壇者：代表取締役社長 熊田 貴之

埼玉県八潮市で発生した大規模な道路陥没事故は、インフラ老朽化という“身近なリスク”を社会に再認識させる契機となりました。同時に、ドローンがその課題解決に大きく寄与できる可能性も示されました。本セッションでは、日本が築き上げてきた公共インフラの現状を踏まえ、老朽化対策におけるドローンの役割と可能性について考察します。



■11月27日(木)14:45-15:45 パネルセッション②

テーマ：大阪・関西万博でのドローン運航管理

登壇者：社長室 マネージャー 酒井 和也

大阪・関西万博の会場では、世界初となる「ドローンと空飛ぶクルマの運航管理手法」の実証が行われました。ドローンの安全運航と効率的な空域管理に関する取り組みは、万博においても注目を集めています。

本セッションでは、運航管理チームのメンバーである酒井が、現場での経験をもとに得られた課題・成果・そして将来の展望について語ります。



「Japan Drone／次世代エアモビリティ EXPO 2025 in 関西」概要

■会期

2025年11月26日(水)～27日(木)10:00～17:00

■会場

ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター

(〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館 B2F)

■ブース番号

B-7

展示会への事前来場登録は、以下公式サイトよりお申し込みください。

<https://www.japandrone-kansai.com/>